

活動報告書

菜園教育普及のためのカリキュラム研究(1) - “The Growing Classroom” から学ぶ -

Development and Promotion of Research and Education Curriculum for the Edible Schoolyard (1): Learning from “The Growing Classroom”

研究代表者: 澤登早苗

共同研究者: Germain Mesureur, Dexter Da Silva, 浅岡みどり、
渡辺美鈴、丸山美夏、菊地牧恵

SAWANOBORI Sanae, Germain Mesureur, Dexter Da Silva, ASAOKA
Midori, WATANABE Misuzu, MARUYAMA Mika, KIKUCHI Makie

Abstract

This paper describes the establishment, aims and activities of the *Garden Classroom* research group. The main aims of this research group are to enrich the content of the current *seikatsu engei* curriculum at Keisen, and to develop an “Edible Schoolyard” education program suitable for Japan. The bases of these aims are: 1) the activities developed under the project recognized as a Good Practice project by the Ministry of Education, and 2) the “Edible Schoolyard” developed by the NPO Life Lab at the University of California at Santa Cruz. Four main activities are explained: 1) translation into Japanese of selected parts of the English book “The Growing Classroom,” 2) start of the summer children's project, 3) trial program aimed at children during the Keisen Festival, and 4) working with Tama City's Education Committee, especially focused on the concept of Education for Sustainable Development (ESD).

はじめに

2010年公開講座でカリフォルニア大学(以下UCと略す)サンタクルーズ校へ視察に行ったメンバーを中心に、2011年1月19日、Garden Classroom 研究会を立ち上げることにした。目的は、2007年に選定された文科省特色GPF「教養教育としての生活園芸」の活動の一環として、2008年生活園芸特色GP及び2010年公開講座で視察を行ったUCサンタクルーズ校のキャンパス内にあるNPO Life Labで展開されている菜園をベースとした教育カリキュラムについて研究するために、同機関から発行されている英文資料の翻訳を行い、その結果を基に、本学で実践している生活園芸の内容を充実させるとともに、我が国に適した菜園教育プログラムを組み立てることである。

研究会発足時の主なメンバーは、澤登早苗、宮内泰之、渡辺美鈴、浅岡みどり、木村しをり(視察参加者)、D. Da Silva、G. Mesureur、菊地牧恵、来島泰史(園芸準備室職員)、丸山美夏、岩切香(園芸準備室スタッフ当時)、小林ひかる(視察参加学生)、米川さゆり(カリフォルニアFS参加学生)である。

本研究をさらに進めるために、2011年度より園芸文化研究所の研究助成を申請し、採択された。本稿では、2011年度に実施した研究会の概要を報告する。

1. 研究会の開催

以下の通り定期的に研究会を開催し、①翻訳、②それを用いた教育プログラムの実践、③多摩市との連携の可能性等について検討を行った。

表1 研究会の実施概要

第1回	2011年2月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide” P.4 “What is a Life Lab Garden? A Life Lab Garden is a place where students…” P.6~7 “Wanted:More Questions Fewer Answers” ・多摩市担当部署聞き取り調査報告 ・本会の目的、方法、名称の検討と確認
第2回	2011年4月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide” P.4,P.6~7再検討 ・公開講座「夏休みこどもプロジェクト!テラリウム」の実施プログラムの検討 ・研究助成申請報告
第3回	2011年5月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide” P.8~11 “Important Skills for Garden-Based Learning” ・今後の活動計画の立案
第4回	2011年5月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide” P.6~7 再検討 ・公開講座、恵泉祭プログラム検討 ・多摩市担当部署聞き取り調査事前打ち合わせ
第5回	2011年6月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide” P.6~7再検討、P.11~12 “Important Skills for Garden-Based Learning”、書籍“The Growing Classroom” “Sowing the Seeds of Wonder” 目次 ・公開講座、恵泉祭プログラム検討
第6回	2011年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide” P.9 Cooperative Learning ・恵泉祭プログラム検討

第7回	2011年7月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide” P.5 “GARDENING PROJECT” 書籍“The Growing Classroom” P.191~192 “Cycles and Changes” ・多摩市教育委員会聞き取り報告
第8回	2011年7月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide” P.6~7、P.8~11 再検討 ・公開講座プログラム打ち合わせ
第9回	2011年10月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座振り返り ・恵泉祭プログラム検討 ・カリフォルニアFS報告 ・宿泊研究会の企画
第10回	2011年11月9日	(宿泊研究会)今後の活動について検討 夢や希望の書き出し→キーワード抽出→具体的実践に向けてのコンセプト確認
第11回	2011年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・南野キャンパス菜園、コンポスト、他現場確認 ・宿泊研究会振り返り ・2012年度公開講座「コンポスト」「ジャガイモ栽培」プログラム検討 ・今後の活動の可能性について検討
第12回	2012年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:書籍“The Growing Classroom” P.200~201 “Compost Bags” ・公開講座、スプフェスプログラム検討
第13回	2012年2月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:書籍“The Growing Classroom” P.202~203 “Let's Make a Compost Cake” ・次年度公開講座、スプフェスプログラム検討 ・多摩市みらい会議ESDフォーラム参加報告
第14回	2012年3月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳:書籍“The Growing Classroom” P.151~152 “Room to Live” ・公開講座プログラム検討 ・コンポスト作成計画立案

2. “The Growing Classroom” 翻訳

Life Labから発行されている書籍“The Growing Classroom”および“Sowing the Seeds of Wonder”に加え、2010年の視察時に参加したLife Labのワークショップで使った小冊子“The Growing Classroom Workshop Guide”の一部の翻訳を行った。

書籍“The Growing Classroom”は、カリフォルニアの教育機関において菜園をベースに教育を展開する人々のためにまとめられたものであり、約500ページからなる大著である。その内容は、1979年にサンタクルーズにあるGreen Acres Schoolの駐車場を学校菜園に転換することからはじまったアメリカにおける菜園教育に関する30年以上にわたる取り組みについてまとめられたものである。Life Labは5年間にわたり、菜園教育をサンタクルーズ郡、カリフォルニア州、そして全米の学校に広めることを国によって認められた。それらの経験から、学校菜園は多くの教育効果をもたらすことが明らかになったと報告されている。

そこで、翻訳作業は、Life Labのコンセプトが記されている以下の箇所から始めた。

- ・ What is a Life Lab Garden? A Life Lab Garden is a place where students...
- ・ Garden Integration Map “GARDENING PROJECT”
- ・ Wanted: More Questions Fewer Answers
- ・ Important Skills for Garden-Based Learning

次いで、まず参加者が特に関心を示した以下のような実践プログラムの翻訳を行った。

- ・ Cycles and Changes
- ・ Compost Bags
- ・ Let's Make a Compost Cake
- ・ Room to Live

3. 菜園教育プログラムの開発

上記の翻訳したプログラムを参考にして、日本で実践しやすい形に調整

し、新たな教育プログラムを開発することを試みた。そのプログラムは公開講座、および恵泉祭等で試行した。具体的には以下の通りである。

- ・ 園芸文化研究所公開講座「夏休み子どもプロジェクト!小さな自然をビンの中で育てる・テラリウム」(講師:浅岡、場所:グリーンライブセンター); 2011年8月2日
- ・ 恵泉祭「草花版画とハーブティー」[「メズルール・ネイチャーツアー」(Mesureur、渡辺、浅岡、木村、丸山、宮崎、菊地、小林ひかる、米川)]; 2011年11月6日

2012年度は、新たに指導者対象の公開講座の開催を予定している。その際、これまで培ってきた多摩市教育委員会とのつながりを介して、多摩市の教育関係者へ働きかけを積極的に行ないたい。2012年度実施予定プログラムは以下の通りである。

- ・ 園芸文化研究所公開講座「菜園教育指導者(サポーター)講座」(講師:澤登、Mesureur、来島、小林ひかる、場所:南野キャンパス); 2012年3月31日、5月12日、6月30日
- ・ 園芸文化研究所公開講座「夏休み子どもプロジェクト・「ごみ埋め実験」～土の循環を学ぼう～」(講師:浅岡、場所:南野キャンパス); 2012年7月31日
- ・ スプリングフェスティバル「コンポストツアー」[「メズルール・ネイチャーツアー」他]; 2012年5月26日
- ・ 恵泉祭「メズルール・ツアー」[「草花版画」他]; 2012年11月10日

4. 本研究会の活動コンセプトの確認と方向性の検討

それまでに取り組んできた翻訳が一段落したのを機に、2011年11月9日に宿泊研究会を行い、本研究会の今後の目的や方向性を再確認し、今後の具体的活動について検討を行った。

宿泊研究会では、KJ法を用いてワークショップを行った。具体的には、各自が本研究会を通じて実現したいと考えている夢や希望を表すことばを、付箋に書き出して模造紙に貼った後、それらを似たもの同士で分類し、それぞれに適当なタイトルをつけた。以下は、その結果を示したものである。この

タイトルが、本研究会の活動コンセプトのキーワードになるといえよう。

- ・ 植物・土・菜園
- ・ 学びの共有と食の共有
- ・ 持続可能な暮らし
- ・ 学生の活動の場
- ・ 地域拠点
- ・ 人材養成
- ・ 多文化共生
- ・ 遊び場

次に、これらを具体的にどのように実践していくか、また恵泉の南野キャンパスを舞台と考えたときに何ができるかについて話し合った。その結果、まずは「物質循環」をテーマに、すでに南野キャンパスにある①菜園(カフェ横の中庭の果樹園)、②カフェ、③コンポストの三つを核として、活動を展開していくことになった。

5. 多摩市教育委員会との連携

翻訳、プログラムの実践と並行して、多摩市教育委員会との連携体制の確立を模索してきた。その結果、教育委員会教育指導課指導主事の中谷愛氏、多摩市連光寺小学校教育支援コーディネーター羽澄ゆり子氏とのつながりができた。今後もこのネットワークをいかし、多摩市の小中学校の教諭が本研究会の指導者対象のプログラムに参加しやすい環境を作るなど、連携を深めていきたい。

これまでの多摩市教育委員会との主な関わりは次の通りである。

- ・ 多摩市教育委員会への聞き取り調査(渡辺、浅岡、木村、小林ひかる);2011年7月5日
- ・ 多摩市ESDセミナー参加(渡辺、浅岡、木村、宮崎、菊地、小林ひかる、米川);2011年8月4日
- ・ 多摩市みらい会議ESDフォーラム2012参加(菊地);2012年1月21日
- ・ 多摩市のESD「2050年の大人づくり」多摩市みらい会議メンバーに登録;

2012年1月

- ・多摩市教育委員会(中谷氏)へ指導者対象の公開講座について説明、教諭への発信協力依頼(小林幹夫、来島、小林ひかる);2012年3月13日

まとめ

以上のように、2011年度は以下の4項目を中心に活動を行ってきた。

- ・“The Growing Classroom”の翻訳(英文和訳)作業
- ・園芸文化研究所公開講座「夏休み子どもプロジェクト!小さな自然をビンの中で育てる・テラリウム」開講
- ・恵泉祭での子供対象プログラム試行
- ・多摩市教育委員会に対しての聞き取り

宿泊研究会では、参加メンバーが本研究会を通して何を実現したいかフリーディスカッションを行い、目指しているものを再確認することができた。

なかでも、多摩市教育委員会への聞き取りを行った結果、多摩市がESDを推進していることが明らかになったことは、特記しておくべきであろう。また、多摩市ESDセミナー、多摩市みらい会議ESDフォーラム2012に参加し、教育委員会主催の「多摩市ESD2050年の大人づくり 多摩市みらい会議」にも登録することにした。これにより、本学は、現在多摩市が力を入れているESDの推進に対して何らかの協力をしていくことが期待されるであろう。これらのことを踏まえ、今後、カリキュラム研究等、連携するための方策を、より具体的に検討する必要があるだろう。また、翻訳の成果を実践の場で生かすには、公開講座等においてプログラムを試行し、その成果について評価することを通じて、具体的なプログラムを提案していくことも急務である。

以上のことを踏まえて、2012年度は、以下のことを実施したい。

- ・“The Growing Classroom”を翻訳(英文和訳)したものをまとめる。
- ・園芸文化研究所公開講座等を通じて、教育実践プログラムの研究と開発を推進する。

春学期においては、以下の2講座を開講する予定である。

①「菜園教育指導者(サポーター)講座」(指導者対象、全3回ジャガイモ栽培を中心に)

②「夏休みこどもプロジェクト「ゴミうめ実験」～土の循環を学ぶ～」
(小学生低学年対象、コンポスト作成)開講

- ・ スプリングフェスティバル、恵泉祭において子供向け教育実践プログラムを実施し、評価を行い、改善する。
- ・ 多摩市教育委員会との連携をさらに進め、具体的に何ができるか模索する。